




異国情緒が漂う家 第七章

可愛らしくて心地よい  
プロヴァンス風の家の暮らし方

セカンドリビングを  
洋室にして広さを演出

南仏のプロヴァンス地方を彷彿させる明るい色調の洋瓦と塗り壁、リズムカルに並んだ縦長の窓。岡崎様邸は、どの角度から見ても、可愛らしくナチュラルな佇まいです。お住まいになっているのは、岡崎様ご夫婦と3人のお嬢様、ご両親の7人。プラスでの時間が楽しめるよう、間取りや収納が工夫されています。

玄関を入り、廊下のドアを開けるとキッチンからダイニング、リビングへと続き、ダイニングの横にはセカンドリビングがあります。「この広々とした空間が、家族のお気に入りです」と岡崎様。セカンドリビングは和室にするご家庭も多いのですが、お父様が、あえて洋室を希望されました。統一感がありますし、椅子の生活の方が、立ったり座ったりする際に身体に負担が少ないからです。もし、どうしても和室にしたいと思ったら、畳を敷こうと考えました」と、にっこり。ふだんは、



ダイニングと連続した空間になっていますが、来客の際は引き戸を閉めて、独立したスペースとして活用されるそうです。

奥の壁には、モダンな収納タイプの  
神棚があり、ロートアイアンの棚支え  
でお洒落に演出。仏壇は、柱をくりぬ  
いた中にありました。そのすぐ側には、  
部屋のテイストに合わせたタイル  
で飾った洗面台を設置。お花を生ける  
ときなどに、とても便利です。

共有スペースでも  
プライバシーを確保

玄関ホール左側のドアの先は洗面所です。2人が並んで映るくらい大きなサイズの鏡を設えた洗面化粧台があります。その奥は脱衣所。ドアで仕切られているため、誰かがバスルームを使っているときでも、洗面所を使えます。洗面所と脱衣所に、岡崎様世帯用とご両親世帯用の洗濯機がそれぞれあるのも、お互いに気兼ねなく暮らすための工夫のひとつです。

玄関ホールの右側にある階段を上がつてすぐの部屋はフリースペース。奥様のお好みで、アンティーク調のフレンチスタイルになっています。ここにも小さな流し台が設えてあり、お茶を淹れるときなどに、利用されているそうです。



“I love my home.”トガシホーム  
株式会社 富樫工業

宮城県仙台市青葉区上愛子字蛇台原16-1  
TEL 022-392-2415 FAX 022-392-2417  
URL <http://www.k-togashi.co.jp>

トガシホーム 検索